

つ、簡単な解説を初めしながらモデルお手的動きを出ると、デンタルエステの指節の動きが理解できる。

解剖学的な説明も簡潔かつ的確で、歯科医療従事者に読んでいる。



歯科衛生士のための
チェックポイント
はじめましょう
有病者の口腔ケア

神部芳則・井上千恵子・
秋元留美 編集
AB判
152p
3,500円+税
学建書院

『がん患者さんの口腔ケアをはじめましょう』(2013年)、『はじめましょう摂食・嚥下障害のVF検査』(2014年)と続いている人気シリーズの最新版。人口構成の高齢化に伴い、重要性を増してきた有病者への対応を、主として歯科衛生士による口腔ケアを想定してまとめた内容。

患者さんが歯科診療室に入ってきた際に注意すべきことや、バイタルサインや臨床検査値の読み方、診療室で患者さんが「具合が悪い」と訴えた場合の対処法など、これまで歯科麻酔科の参考書が主に扱ってきた内容を、歯科医師だけでなく歯科衛生士も活用できるよう、症例を基に分かりやすく解説している。

日常的に見られる可能性のある高血圧症から、年々増加し続けているがんまで、さまざまな全身疾患を持つ患者さんの特徴や注意点がまとめられている。また、ヒヤリ・ハット事例への対処などにも触れており、全身管理のガイドブックとして有用。

特に、口腔内写真やレントゲンという、全身管理関連の書籍ではあまり掲載されない情報が

入っているため、歯科医療従事者にとって親しみやすい構成といえるのではないかな。



チェアサイドで活用！
全身管理のマネジメント
歯科治療総合
医療管理科専定
のために

神部芳則・井上千恵子 著
BS判
266p
3,500円+税
学建書院

全身管理に関与する書籍の中で、歯科治療総合医療管理科(専定)区写准科(専定)の専定に思慮を絞った内容が特徴的な本。

本書とは、臨床現場に適用し現場の取り組みを行っていること、医療現場を共有する患者さんについて医療からの情報提供を受けていること、歯科治療を行う際に前巻の全身管理を行っていることを条件に、全身管理の内容と全身管理の更新を医療科に記録した際に付し補償するもので、歯科診療連携を創出する医療現場とされている。

本書は、高血圧や心臓病、骨粗鬆症や糖尿病など対象となる15の全身疾患について、現地の現行、代表的な治療法、必要な全身管理の管理などを豊富な写真とともに解説。また、歯科治療に際しての管理、緊急時の対応などについても前巻にまとめられており、医療科に記録すべき基本的な記載内容を紹介している。

高齢社会を迎えて様々な全身疾患を抱える患者さんは増える一方である。歯科医療上の配慮が果たす前に求められるようになってきた。医療を限定しない歯科医療現場においても知っておくべき知識が得られる一冊といえるだろう。